| 女川原子力発電所第 2 号機 | 工事計画審査資料 |
| :---: | :---: |
| 資料番号 | 02 －工－A－03－0005＿改 0 |
| 提出年月日 | 2021 年 6 月 15 日 |

## 工事計画に係る説明資料

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（2．4．3 燃料プールスプレイ系）
（本文）

2021年6月
東北電力株式会社

## 申請範囲

2．核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
2.4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備

2．4．3 燃料プールスプレイ系
（2）ポンプ（可搬型）
－大容量送水ポンプ（タイプI）
（6）ろ過装置（可搬型）
－可搬型ストレーナ
（8）主配管（スプレイヘッダを含む。）（常設）
（8）主配管（スプレイヘッダを含む。）（可搬型）

2．4．3 燃料プールスプレイ系
（2）ポンプ（可搬型）

|  | 変 | 更 前 | 変 更 後 |
| :--- | :---: | :---: | :---: |
| 名 称 | — | 大容量送水ポンプ（タイプ I）＊ |  |

注記＊：本設備は，使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）であり，使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プールスプレイ系）として本工事計画で兼用とする。
（6）ろ過装置（可搬型）


注記 $* 1$ ：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器代替スプレイ泠却系）と兼用。
＊2：重大事故等時における使用時の値。
＊3 ：本系統で使用する場合の値を示す。
＊ 4 ：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器代替スプレイ冷却系）で使用する場合の値を示す。
＊5：公称値を示す。
＊6：取合うホースの呼び径を示す。
O 2 II R 0
（8）主配管（スプレイヘッダを含む。）（常設）


注記 $~=1$ ：外径は公称値を示す。
＊2 ：（ ）内は公称値を示す。
＊3：重大事故等時における使用時の値。
＊ 4 ：エルボを示す。
（8）主配管（スプレイヘッダを含む。）（可搬型）

| 変 更 前 |  |  |  |  |  |  |  | 変 更 後 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 名称 | $\begin{gathered} \text { 最高使用 } \\ \text { 圧 力 } \\ (\mathrm{MPa}) \\ \hline \end{gathered}$ | 最高使用 <br> 温 度 <br> $\left({ }^{\circ} \mathrm{C}\right)$ | $\begin{gathered} \text { 外径 } \\ (\mathrm{mm}) \end{gathered}$ | $\begin{gathered} \text { 厚さ } \\ (\mathrm{mm}) \end{gathered}$ | 材料 | 個数 | 取付箇所 |  | 名 称 | ＊1 <br> 最高使用 <br> 圧力 <br> $(\mathrm{MPa})$ | 最高使用温 度 <br> $\left({ }^{\circ} \mathrm{C}\right)$ | 外径 <br> （mm） | 厚さ （mm） | 材料 | 個数 | 取付箇所 |
| $\begin{aligned} & \text { 燃 } \\ & \text { 料 } \\ & \text { । } \\ & \text { ル } \\ & \text { Ko } \\ & \text { L } \\ & \text { 系 } \end{aligned}$ | － |  |  |  |  |  |  |  | 取水用ホース <br> $(250 \mathrm{~A}: 5 \mathrm{~m}, ~ 10 \mathrm{~m}, 20 \mathrm{~m})$  <br> 送水用ホース <br> $(300 \mathrm{~A}: 2 \mathrm{~m}, 5 \mathrm{~m}, 10 \mathrm{~m}, 20 \mathrm{~m}, 50 \mathrm{~m})$  <br>  $* 2$ <br> 注水用ヘッダ  | 2．核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 <br> 2.4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 <br> 2．4．2 燃料プール代替注水系 <br> （8）主配管（スプレイヘッダを含む。）（可搬型） に記載する。 |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | $\begin{aligned} & \text { 燃 } \\ & \text { 料 } \\ & \text { フ } \\ & \text { ル } \\ & \text { ス } \\ & \text { フo } \\ & \text { 采 } \end{aligned}$ | スプレイ用ホース <br> （65A：1m） | 1.6 | 50 | $65 \mathrm{~A}^{* 3}$ | －＊4 | $\begin{aligned} & \text { ポリエス } \\ & \text { テル, ポ } \\ & \text { リウレタ } \end{aligned}$ | 6 （予備1） | 保管場所： <br> - 原子炬建屋原子炉棟 0．P． 27.80 m <br> - 原子炉建屋原子炉棟 O．P．31． 40 m <br> - 原子炉建屋原子炉棟 O．P． 33.20 m <br> 予備を含めた 7 本を原子炉建屋原子炉棟 0．P．27．80 mに1本，原子炉建屋原子炉棟 0．P．31． 40 mに 3 本及び原子炉建屋原子炉棟 O．P．33． 20 mに 3 本を保管する。 <br> 取付箇所： $\left[\begin{array}{l} \text { ・クロスデバイザー管~スプレイ } \\ \text { ノズル }(3 \text { 本 } * 5) \end{array}\right]$ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | スプレイノズル | 1.6 | 50 | $65 \mathrm{~A}^{* 3}$ | －＊4 | AC4CH | 12 （予備1）${ }^{* 6}$ | 保管場所： <br> - 原子炉建屋原子炉棟 0．P． 27.80 m <br> - 原子炉建屋原子炉棟 O．P． 31.40 m <br> - 原子炉建屋原子炉棟 O．P． 33.20 m <br> 予備を含めた 13 台を原子炬建屋原子炉棟 O．P．27． 80 mに4台，原子炉建屋原子炉棟 O．P．31． 40 m に 3 台及び原子炉建屋原子炉棟 O．P． 33.20 mに6台を保管する。 <br> 取付箇所： $\binom{\text { 原子炉建屋原子炉棟 } 0 . \text { P. } 33.20 \mathrm{~m}}{(6 \text { 台 } * 5, * 7)}$ |

＊2 ：本設備は，使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）であり，使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プールスプレイ系）として本工事計画で兼用とする。
＊3 ：メーカにて規定する呼び径を示す
 できるものを使用する。
＊5 ：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プールスプレイ系）で使用する場合を示す。
＊6：燃料プールスプレイ系（可搬型）として6台及び燃料プールスプレイ系（常設配管）として6台に予備1台を合計した個数を示す。
＊ 7 ：使用済燃料プール周囲に6台設置する。

